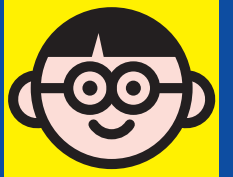


なぜ否決？そしてどうなる？ 萩山小学校等の 複合施設化契約議案

佐藤 まさたか 市政レポート



第113号
2026年4月25日発行
【発行】ちゃんと変えよう！東村山

▶東村山市議会3月定例会は、最終日(3月26日・木)23時近くに閉会しました。この日市長からの追加議案として提出され、審議・議決をはかった「議案26号 萩山小学校等複合施設整備事業に係る設計・施工・維持管理一括契約」は、賛成11(公明党6・自民党5):反対12(共産党4・立憲民主党2・日本維新の会1・東村山生活者ネットワーク1・がんばろう東村山1・国民民主党1・対話で行こう！東村山1)で、否決となりました。

▶本件は築約60年の「萩山小学校」建替えにあたり、学校敷地内の2つの「児童クラブ」、目の前の都営住宅1階にある「萩山公民館」「萩山図書館」、踏切近くの「萩山憩いの家」、そして1kmほど離れた「萩山集会所」を、小学校と一体的な建物として設計(D・デザイン)、建設(B・ビルド)し、2045年まで(M・メンテナンス)する事業者や金額を決定するための契約議案でした。

▶提案説明では、「事業者の創意工夫や経験、ノウハウを活かした効率的な維持管理・修繕までを勘案した事業の両立を目指し、D・B・Mについて一括契約を取り交わす」とし、その〈効果〉としては「複合化されるそれぞれの機能が調和し、世代を超えた交流が自然と生まれることで、地域のコミュニティ活動の拠点として、誰もがふらりと立ち寄り、一人一人が「私の居場所」と思える空間の整備が実現される」とされていました。

20年におよぶ約80億円の契約

- 市が事前に行った2社によるプロポーザルで選定され仮契約を結んだ(株)乃村工芸社を筆頭とする6社…(株)類設計室、前田建設工業(株)、菊池建設(株)、相羽建設(株)、(株)エフピーエスに、先の【DBM】を一括発注する。
- 契約期間は、本契約締結日の翌日から令和

27年3月31日までの20年間とする。

●契約金額は、79億9,982万7千円(税込)という中身であり、それに対して各会派が疑義があれば質し、晴らし、本契約を交わしてよいのかどうかを決める議案でした。

▶私は8番目の質疑者として6点を質した上で、次のような反対討論(概要)を行いました。

議論が尽くされてこそその議決責任

▶足掛け15年ほど大変難しい取組みを進め、情報提供・共有にも努め、時には出向いで説明してきた担当の姿勢を大いに評価している。自治体の持続可能性という大きなテーマであり、有効な手段として公共施設の複合化に反対するものではなく、萩山小学校の建替えが順調に進むことも非常に重要と考えている。市長が率直に答弁された中で大いに悩むが、本議案に本日は賛成できず、以下反対理由を述べたい。それは、本契約を可決することが、議会として、どこまで、何を認めることになるのかがはっきりしないということに尽きる。

▶たとえば、萩山公民館「のようなもの」が生まれることはわかるが、萩山公民館をどうするのかは、当市にとっての社会教育の制度設計、中央公民館と他の地区館3つを含めた公民館を視野に入れなければならない。フルスペックの公民館を求めるわけではないが、少なくともモヤが晴れた状態で可決しないと、議会の決定としては問題が残るし、公民館運営審議会や社会教育委員の会議に対し、市が視野に入れている法的な位置づけやスケジュールを正直に伝えた上で、早期に、丁寧に、必要な議論を深めていただきたい。

▶ハコモノ(施設)のプランとは、内容や運営

をどうするのが丁寧に積み上げられる中で定まっていくものではないのか。公民連携や、公共施設の集約化・複合化を否定はしないが、巨額の公費を投じることを決定する以上、議論を尽くした上での結論が求められる。

▶最後に、複合化予定の施設のうち、地域的に離れ、高齢者が通うことが難しくなる萩山集会所は可能な限り残し、公共施設が乏しい地域でもあるので、積極的活用を検討すべきである。

その後の状況と今後について

▶3月議会が閉会して年度が替わり、市長サイドは議会がどこを問題視しているのか正確に把握しようと、会派ごとにヒアリングが順次行われています。これはそこで出された様々な意見を踏まえ、可能な修正を施した上で次の議会に再提出して可決したいという意図だと受け止めています。

▶私が公共施設再編に関してこれまで一般質問や予算・決算審査時に問うてきたのは、東村山市の教育行政、とりわけ社会教育サイドの本質的で広範な議論が決定的に不足しているので、施設計画と並行して取り組むべきだということでした。けれど今回、「議案議決後に検討していきたい」という答弁が続いたため、ハコ(建物)が決まれば議論の余地は限定されることになると考え、この段階では賛成できないと判断しました。

▶萩山小の建替えをゼロベースにすることはできないと考えていますし、先に延びることで事業に要する費用が高騰するリスクもあります。確実に到来する人口減少社会、縮小均衡の社会を考えれば、現在の公共施設を全てそのまま建て替えることは厳しく、複合化や集約化も選択せざるを得ないという考えも変わっていません。現時点での試算に基づき、今後40年間の市全体の見通しを一度示したことも妥当だったと考えています。

「人」が産み出す地域コミュニティ

▶では、どうすれば新たな施設があらゆる世代の多様な市民にとって、利用しやすく、利用したくなる場になるのでしょうか？

▶そのカギは、東村山の公民館が今まで殆ど取り組んでこなかった、人が出会い、つながり、つど「場づくり」や、様々なアイデアを住民と共に形にできる専門的力のある「人」を置けるかどうか、にあると考えています。社会教育の大切さを今後も強く訴え、提案を続けます。



大屋根下には全天候型の交流スペースも設置

誰もが立ち寄りやすい図書館

学校・地域を繋ぐ階段教室

3月定例会議案資料より抜粋

佐藤まさたか「市政ほっと対話」にお出かけください!

●3月議会では、萩山小学校複合化契約の議案以外にも、88歳と100歳に支給されていた長寿祝い品の廃止、白州山の家の廃止、国民健康保険税の引き上げ、新しい副市長の選任など、市民の皆さんの生活に影響のある様々な議案を扱い、結論を出しました。

●私が知り得る範囲の話をお伝えし、ご参加の方からのご質問に答え、率直なご意見を伺う「報告&意見交換の場」を5月2日(土)に開きます。また、6月議会がすぐに来ます。5月21日にすべての議案や全議員の質問等が出揃ったら、「最新情報の提供&共有の場」を5月24日(日)に設けます。佐藤まさたかを支持する・しないに関係なく、どなたでもお気軽にお越しください。

5月2日(土)

5月24日(日)

新体制から1年! 議会は今どうなってる?

- ①朝ほっと:10~11時半@廻田公民館
- ②午後ほっと:15~16時半@市民センター
- ③夜ほっと:20~21時半@Zoom

間もなく6月議会! 事前に全部伝えます

- ①朝ほっと:10~11時半@廻田公民館
- ②午後ほっと:16~17時半@中央公民館
- ③夜ほっと:20~21時半@Zoom

※いずれも事前申し込みは要りません。※①②は直接会場へ、③は各QRコードからどうぞ



5月2日用

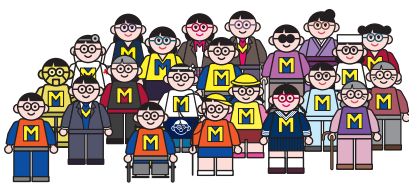


5月24日用



3月議会の一般質問報告「火葬場」と「住民投票制度」で市の見解を問いました

「一般質問」は、市政の問題追及や、新たな政策の提案等、議員それぞれが自分の関心事を定例議会ごとに自由に上げることが出来ます。私は23年間一度も休まずに毎回2つか3つの大きなテーマを扱ってきましたが、今回は過去たった一人しか取り上げたことがない「①火葬場の整備」と、渡部市長が19年前に掲げたマニフェスト「②市民参加と常設型の住民投票制度」について、現状の課題を提示し、改善や実現を求めて3月5日に質問に立ちました。



葬祭場・火葬場の課題

1

背景と問題点

- 多摩地域における火葬費用負担の大きな格差
- 高齢者人口増大に伴う多死時代の到来
- 火葬待ち期間の長期化(15年前4-5日→現在1週間以上)
- 遺体保管料金等の負担増加
- 市外受け入れを制限する施設の出現

火葬料金の格差

設置自治体の住民 無料~1万円	東村山市民 8万円
--------------------	--------------

補助制度の現状

- 多摩地域: 火葬施設を持たない12市では補助制度なし
- 全国事例: 11自治体で補助制度あり
- 沖縄県宜野湾市: 1万5千円または実費のいずれか低い額
- 神奈川県二宮町、京都府京田辺市: 一律補助または差額の1/2補助
- 神奈川県大磯町: 9万5千円の定額補助(最大)

提案: 共同設置と補助制度

佐藤まさたかの提案

- 都市地活用を含む複数自治体による共同設置の検討
- 広域行政圏協議会での課題共有
- 一部事務組合への加入検討
- 施設整備までの間の費用一部補助制度導入

市長答弁(要旨)

火葬費用の負担格差は課題と認識。補助制度は持続可能な制度設計が課題。東京都の方向性や先進自治体の効果・課題を注視しながら、一部事務組合への加入等も模索し検討していく。

市民参加のあゆみ・進展

2

- 2005年(平成17年) 渡部市政誕生: 情報公開の徹底と市民参加のシステム化
- 2009年(平成21年) 第4次総合計画: みんなでつくるみんなの東村山
- 2012年(平成24年) みんまち条例施行(12年経過)
- 2024年(令和6年) 市民参加基本方針の全部改正

市民参加基本方針改正の主なポイント

- 時代の変化に即した市民参加の仕組みと手法の整理
- 多様な世代の参加促進(性別、障害、子ども、若者含む)

常設型住民投票条例(実施必至型)の策定

2007(H19)年 市長選マニフェスト 東村山駅西口再開発問題を契機に、常設型住民投票制度を含む自治基本条例の制定を公約に。19年が経過し、みんまち条例はできたが...

市長の考え(要旨)

- 住民投票は最後の手段
- 熟議と一体で実施が必要
- 議会制民主主義を補完
- リズナブルな枠組み
- 見守り検証会議等で議論

主要な検討論点

- 対象事項: 市政運営に関する重要事項の具体化
- 投票資格者: 市議会議員・市長の選挙権を有する者(18歳以下、外国人の扱いも論点)
- 投票方法: 実施形式、執行期日等
- 成立要件: 成立要件の有無、開票作業の実施
- 結果の取扱い: 法的拘束力はないが民意の尊重方法
- その他: 署名収集期間、審査期間、情報提供方法

令和8年度中の実現を目標に取り組む

市民に開かれた議会へ 東村山市議会報告会

市議会の公務として全議員で準備してお待ちしております。

5月16日(土) 10時~11時30分 市民センター2階

まとめ: 市民が主役の東村山

情報共有・市民参加・協働の原則

みんまち条例に基づき市民参加が「標準装備」に。市民の声を丁寧に受け止め、政策・施策・事業として具体的な形で返していく循環の積み重ね。

市民が関わり実感を持てる市政運営

意見がどのように施策に反映されたかを丁寧に示し、フィードバックする。その積み重ねが主体的な関わりを生み、市民と行政の信頼関係を築く。

持続可能な自治の実現

財政的に厳しい状況だからこそ、多くの市民が課題認識を共有し、当事者としてまちづくりに参加する必要がある。

6月定例議会の予定

4年任期のラストイヤーが始まりました。私の一般質問は6月2日(火)になりそうです。

- 5.28(木) 初日・本会議
- 6.2(火)4(木)5(金) 一般質問
- 6.11(木)~17(水) 委員会開催日
- 6.25(木) 最終日・本会議

あしがき:市長と議会はアクセルとブレーキであるべき

市議会が史上初めて市長提案を否決したことで驚かれた方から多くのご質問やご意見をいただいています。また与党を自認する議員の一部からは「否決などあり得ない」という声も耳にします。しかし、議員が24人いれば24通りの考え方があり、それをオモテでしっかり議論し、必要があれば修正や否決もあり得るのが議会です。

当然「否決して終わり」ではなく、むしろ高い説明責任を求められることを日々感じています。「市長と議会は車の両輪」ではなく、「アクセルとブレーキ」だというのが私の持論です。議会の体制が昨年5月に替わり、あるべき緊張感が生まれたと感じています。よりよい解を見つけるために合意形成に全力を傾けてまいります。



マニフェスト大賞受賞

佐藤まさたか

1963年日野市生まれ・慶應義塾大学経済学部卒・中高社会科教員免許。大学卒業後、一貫して教育や保育の現場に身を置き、2003年に東村山市議初当選。政党や特定の団体の支援を受けない超党派無所属市議として6期目。NPO法人多摩住民自治研究所副理事長/ローカル・マニフェスト推進連盟/市民と議員の条例づくり交流会議等の運営委員/日本シティズンシップ教育フォーラム/子どもの貧困対策センター「あすのぼ」/自治体学会等の会員/全国の優れた政策実践に贈られる「マニフェスト大賞」で最優秀賞1回、優秀賞2回受賞。

声を聴き、足を運び、市政充実と議会改革に取り組んでいます

「佐藤まさたか市政レポート」は不定期の発行です。佐藤まさたか本人とボランティアの仲間が、駅頭(主に東村山駅西口)配布やポスティングを行っていますので、連続してお届けできなかったり、発行日から時間が経っている場合もございますがご理解ください。バックナンバーはWebサイト(sato-masataka.net)でご覧いただけます。

市政や議会へのご意見、ご相談など、どうぞお気軽に

Facebook や Twitter、ブログから発信中。「佐藤まさたか」で検索してみてください! メールアドレス: 0627gachapin@gmail.com 東村山市廻田町2-21-13 TEL. 090-6018-3572 ※電話よりもメールやSNSの方が確実です

